

会議結果報告書

令和5年10月26日

会議の名称	令和5年度 第2回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議
開催日時	令和5年10月16日（月）13時30分～15時00分
開催場所	志木市役所大 会議室3-3、庁会議室
出席委員	岩崎委員、相原委員、宮本委員、正岡委員、瀧委員、崎田委員、西委員、本多委員、木野委員、奥山委員、藤島委員、長内委員、田中委員、渋谷委員、立花委員、多田委員、丸山委員、土屋委員、生方委員、辻委員、宮川委員 (計21人)
欠席委員	田代委員、吉田委員 (計2人)
議題	議事 (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業の取組状況について 各ワーキンググループ進捗報告 (2) 朝霞地区医師会地域包括ケア支援室からの報告 朝霞地区4市の取組について
結果	審議内容の記録のとおり (傍聴者0人)
事務局	長寿応援課 斉藤主査、増田主任、水谷主事補
審議内容の記録（審議経過、結論等）	
<p><第1部></p> <p>1 開会</p> <p>2 岩崎会長あいさつ</p> <p>本日は、朝霞地区全体の医療・介護連携について情報共有しつつ、第二部では前回まで各ワーキングで検討してきた内容をより具体的な取り組みに向けて活発な意見交換をしていただきたい。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 在宅医療・介護連携推進事業及び認知症施策推進事業について 各ワーキンググループ進捗報告</p> <p>事務局) ACP普及啓発ワーキンググループでは、ACPツールの普及啓発として「わたしの希望をつなぐシート」、「自分らしく生きるために」を作成、普及啓発を行っている。支援者向け研修「人生のふり返りからACP支援を考える」を開催し、在宅介護に従事している支援者27人が参加した。今後はACP普及啓発登録医である相原委員と檜原先生を講師</p>	

に市民向けにACP普及啓発のための講話を11月と2月頃予定している。

医療・介護関係者研修ワーキンググループでは、11月22日水曜日に第8回ケアカフェしきの開催を予定している。新型コロナウイルスの流行以降久しぶりの開催となる。委員からは、「ケアカフェに参加したことで連携が取りやすくなった」、「オフの時間の開催により思っていることを気軽にリラックスして話せる」、「いろんなケースの話が聞けることが良い」などの意見があがり、ケアカフェ開催に向けて第2部で具体的に検討した。

(2) 朝霞地区医師会地域包括ケア支援室からの報告

朝霞地区4市の取組について

朝霞地区4市の取組について朝霞地区医師会地域包括ケア支援室の菅田コーディネーターより報告。

- 令和4年度、入退院時連携について病院7か所にヒアリング、ケアマネジャーを対象としてアンケート調査を実施。朝霞地区入退院支援ルールのモニタリング、アンケートにより、現状把握と課題整理を行った。
- 朝霞地区訪問看護ステーションにおいて「感染症・災害時対策協定書」を作成、締結。管理者30人を対象とした「ケアカフェ」を予定している。
- MCSの活用普及については、活用のための勉強会（導入編、入門編、応用編）を予定している。
- 在宅緩和ケアの推進については、6月に「つながり、ささえる在宅緩和ケア」をテーマに研修会を実施した。
- ACP普及啓発講師の登録医の交流会を実施し、4市の登録医の意見交換会を実施した。
- スキルアップ研修として、朝霞地区4市と協働でケアマネジャーを対象とした「適切なケアマネジメント手法」の開催を予定している。

4 その他

各団体等からの周知事項

- 高齢者あんしん相談センター柏の杜土屋委員より、ケアラー支援講座「がんばらない介護」の周知があった。

〈次回日程〉

第3回会議

令和6年2月29日開催予定

<第2部>

- ① ACPの普及啓発ワーキンググループ、②医療・介護関係者研修ワーキンググループに分かれて今後の具体的な取り組みについて協議を行った。

以上